

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2017年第1四半期（1月～3月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

（1）一般犯罪

- ドバイ警察によると、ドバイ首長国における窃盗事件の発生は減少しており、また、2016年の未解決の窃盗事件は332件で、2015年の460件と比べ減少している。
- シャルジャ警察によると、シャルジャ首長国における2017年1月から3月までに認知事件数は431件で、2016年同期の494件に比べると63件減少した。

（2）テロ

特記事項なし。

（3）デモ・騒擾等

特記事項なし。

（4）外交団に対する犯罪

特記事項なし。

（5）日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

（1）殺人

○ ドバイ首長国（1月1日発生）

ドバイの住宅街の公園において、アジア人の男3名は共謀して、パキスタン人の庭師を刃物で胸や頭部を複数回突き刺すなどして殺害した。

○ ドバイ首長国（1月9日発生）

ナイフ地区において、UAE国籍の男2名とアジア人の男は、路上でパキスタン人男性に性的暴行を加えようとしたが抵抗したため、殴る蹴るなどの暴行を加え、刃物で胸や大腿部を突き刺して殺害した。

○ フジャイラ首長国（3月23日発生）

アル・ファシル地区の住宅において、パキスタン人の男は、窃盗目的で住宅に侵入しようとしたが、住民に見つかり、居住するアラブ人の女性を刃物で腹部や首を多数回突き刺して殺害した上、子供2名と家事手伝いの女性1名を刃物で突き刺して負傷させた。

（2）強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（1月19日発生）

バー・ドバイ警察署管内のスクールバス内において、パキスタン人のバス運転手の男は、エジプト人女兒を膝の上に乗せて、無理矢理キスをした上、身体を触わるなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（2月18日発生）

マリーナ地区のマンションにおいて、イラン人の男は、エレベーター内で女兒に話し掛けて、身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（3月19日発生）

ジュベル・アリ警察署管内において、パキスタン人の男は、一般住宅を訪問し、ウォーターサーバーの水を点検すると偽り侵入した上、一人で自宅に居たフィリピン人男児に対して、突

然身体を触り、キスをするなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国 (3月発生)

ドバイのマンション内において、パキスタン人の男は、エレベーター内でインド人少女に近づき、身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

(3) 強盗

○ ドバイ首長国 (1月5日発生)

ドバイにおいて、アジア人の兄弟2名は、家賃の集金を終えたインド人経営者が車に戻ったところを突然襲い、静かにしなければ殺すなどと言って脅した上、薬品を含んだ布片を他人の口や鼻に被せて意識を失わせ、現金約59万ディルハムを強取した。

○ ドバイ首長国 (2月発生)

ムラカベット地区において、カメルーン人の男6名とマリ人の男2名は、100万USドルをUAEディルハムに両替するとして両替店店員3名をホテルに呼び出し、訪れた同店員らをロープで縛った上、刃物見せつけて脅し、持参した360万ディルハムを強取した。

○ ドバイ首長国 (3月1日発生)

アル・バーシャ地区において、フィリピン人の女とUAE人の男は、一般住宅を訪問し、応対したフィリピン人家事手伝いの女性を刃物で脅して寝室に押し込み、脚を緊縛した上、同人が所持していた携帯電話と室内にあった家主の宝飾品を強取した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。